

この申立書の写しは、法律の定めにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。
この申立書とともに相手方送付用のコピーを提出してください。

受付印 収入印紙 円 予納郵便切手 円	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名 (親子関係不存在確認) <input type="checkbox"/> 審判
	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 80px;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。)

○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲野太郎	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 印 </div>
-----------------------------------	-----------------------------	-------------	---

添付書類 (審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 申立人及び相手方の全部事項証明書	準口頭 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
---	--

申立人	本籍 (国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 ○○市○○町○番地	
	住所	〒 ○○○ - ○○○○ ○○県○○市○○町○番○号	
	フリガナ氏名	コウノ タロウ 甲野太郎	大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 (平成 ○ 歳)
相手方	本籍 (国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 ○○市○○町○番地	
	住所	〒 ○○○ - ○○○○ ○○県○○市○○町○番○号	
	フリガナ氏名	コウノ イチロウ 甲野一郎	大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 (平成 ○ 歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。
この申立書とともに相手方送付用のコピーを提出してください。

※ 相手方	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 〇〇 府県 〇〇市〇〇町〇番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号	
	フリガナ氏名	コ ウ ノ ハ ナ コ 甲 野 花 子	大正 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 平成 (〇 歳)
※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県	
	住所	〒 - (方)	
	フリガナ氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成 (歳)
※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県	
	住所	〒 - (方)	
	フリガナ氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成 (歳)
※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県	
	住所	〒 - (方)	
	フリガナ氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。
この申立書とともに相手方送付用のコピーを提出してください。

申 立 て の 趣 旨

申立人と相手方との親子関係が存在しないことを確認するとの調停・審判を求めます。

申 立 て の 理 由

申立人は、戸籍上、相手方の長男として記載されていますが、事実は、乙川一夫と乙川春子との間の二男です。相手方甲野花子は乙川春子の姉です。

申立人が出生した当時、実父母である乙川一夫と乙川春子は生活が苦しく、相手方には子がいなかったことから、実父母と相手方が相談した結果、申立人を相手方の長男として出生の届出をしました。

しかし、申立人としては、真実どおりに戸籍を訂正することを望んでいます。

よって、申立人と相手方との間の親子関係を否定するため、この申立てをします。